

わの会通信

Vol. 48

2025年1月30日発行 発行元:NPO法人わの会 住所:府中市四谷6-6-1 TEL/FAX:042-360-3626



新年おめでとうございます

今年の年始は昨年と違って大きな災害もなく、皆様にとって穏やかなお正月をお迎えになられた事と思われます。

昨今、150余りの介護事業所が運営困難に陥り、廃止や廃業に追い込まれたという報道を耳にしました。私たちわの会として、この困難な状況を乗り切るために昨年末ヘルパーステーションあいあい以外の事業を四谷6丁目本部に集結し、コスト削減に取り組みました。これからも利用者の方のご負担にならないよう、スタッフ一同日々研鑽し、より良いサービス提供に努めてまいります。本年も以前と変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。そして、今冬は近年になくインフルエンザが大流行しておりますので、皆様くれぐれもお身体を大切になさってください。

NPO法人わの会理事長代行 竹村清



特定非営利活動法人 **わの会**

府中市四谷6-6-1

TEL:042-360-3626



←法人事務所が**住吉町から四谷に移転**しました。
詳しくは、こちらのわの会HP

【5つの事業】

- ①府中自立支援ネットワークわの会(自立支援) TEL:042-360-3626
- ②デイサービスりんりん(地域密着型通所介護) TEL:042-361-6001
- ③重度訪問介護従業者養成研修講座(研修事業)
- ④ヘルパーステーションあいあい(訪問介護) TEL:042-336-7445
- ⑤わの会相談支援(計画相談事業) TEL:042-319-2688



時代の変化に向かって

NPO法人わの会事務局長 志鎌 哲

NPOを取得して、現在のわの会事業が出発したのが2004年です。デイサービスりんりんが1月、ヘルパーステーションあいあいが3月にスタートしています。前身である「府中地域福祉を考えるわの会」も東京都福祉保健財団の補助を受け「府中自立支援ネットワークわの会」として改めて出発をしました。それから20年間、どんな障害があっても、その人が病院や施設ではなく住み慣れた地域で暮らしつつづけるための社会資源を作る。そんな思いでスタッフも利用者も頑張っここまで来ました。ヘルパーを法人内で育てる研修事業と、障がい者の福祉サービス利用計画を作成する相談支援事業も加わり現在は5つの事業を運営する法人となりました。

20年の年月は様々な変化も伴います。発足当初と比べ、デイサービスの利用者は高齢化と重症化が進み、認知症対応も強く求められるようになりました。ヘルパーステーションは医療的ケアやガイドヘルプなど専門性の高いサービスを提供してきましたが、利用者スタッフの高齢化が進んでいます。そして2024年の報酬改定では訪問介護の報酬が下げられました。自立支援ネットワークわの会も高齢化は向き合わなければならない課題です。一番新しい事業である相談支援も、処遇改善加算の対象とはならず人材の確保に苦戦しています。ヘルパー不足の中、その育成を担う研修事業は受講生の半分は外部から来ています。

わの会が存続できているのは、わの会の仕事を求める声があり、その声に応えるスタッフの頑張りがあるからですが、時代の変化に対応してゆく事が同時に求められていると強く感じます。「わの会の仕事」とは何か、それが時代の変化とともにどう変わっていくのかをこれからも考えてゆきたいです。

2024年はわの会に変化のあった年でした。わの会は3つの建物で運営してきましたが、2024年11月に三部門(自立支援ネットワーク、わの会相談支援、総務)を四谷の建物に移し、住吉町と四谷にそれぞれ一拠点を置く体制に移行しました。移転の費用は掛かりましたが、事務所の機能統合と整理を図る事でより大きなパフォーマンスが発揮される事が期待されます。何より今回の移転は、各事業のスタッフがそれぞれが出来る事を持ち寄って、法人全体が協力し合っ成し遂げたものです。会議を何度も開き、意見を確認し、どこかにエラーがあってもそれをどこかがフォローすることが出来ました。みんなで変われることを事務局として実感しています。

これからもわの会は継続、発展していきます。わの会事業を利用される皆様、事業に携わるスタッフ、応援してくれる皆様、わの会に関わる全ての皆様のご協力をお願いします。





今年度の行事について一端を紹介します。

春

小散歩 カフェ・コットン畑 4月16日 (木)

4月16日から30日までカフェ・コットン畑にて「絵を描く会」「押し花の集い」で制作した作品を展示。会員の皆さんと鑑賞に訪れました。珈琲を飲みながら講師の竹田先生からは普段の「絵を描く会」では話されないようなこぼれ話が披露されたりと会話を楽しみました。



小散歩 神代植物公園 春薔薇フェア 5月30日 (木)

春の薔薇が満開の神代植物公園に出かけました。暑いくらいの天気の中、薔薇を鑑賞しながら散歩。大温室に入られた方や「暑い」と直ぐに出てこられた方など思い思いに季節の花々を楽しみました。

夏

ミニディ ミニバザー 夏のミニバザー 8月3日 (土)

かき氷と綿飴と祭りの定番に加えて不用品交換も楽しみましょうと企画した夏のミニバザー。A棟多目的室に集まった会員さんとその家族の皆さんは暑さのなか盛り上がりしました。



小散歩 夕やけ小焼けバーベキュー 8月29日 (木)

大型台風10号関東に接近の予報がありましたが、綿密な情報収集の結果「大丈夫！」と判断し予定通りに出発。3台のBBQコンロに分かれて火熾し、キャベツちぎり、きゅうり串刺しと皆さん準備に大忙しでしたが素早く完成して「いただきます。」夕焼けこやけ館ではストリートピアノを村口先生が弾いて「夕焼けこやけで日がくれて～♪」の大合唱になりました。

秋

バス研修旅行 11月19日 (火)

府中市の借上げバスを利用してバス研修旅行を実施。中河原駅ロータリーを9時に出発、昼前に三崎に到着。海鮮の刺身やてんぷらに舌鼓を打った後、県立城ヶ島公園で太平洋を望みました。帰りの車中、歌ったり、ビンゴゲームで盛り上がり「来年もまた参加したい」など満足の声を多く聞きました。



小散歩 深大寺蕎麦 12月16日 (月)

小春日和の中、深大寺に一足早い年越し蕎麦を食べに行きました。蕎麦屋の窓から紅葉を見ながら「京都みたい！」など会話を弾ませながら蕎麦を味わった後、深大寺の境内をそれぞれに散歩しました。



2024年のりんりんの状況

管理者 津田 久美

◆ 運営状況

上半期は、新規利用者3名を迎えることが出来ました。しかし、施設入所により2名、要介護から要支援に変更となった方1名、病状の悪化に伴い通所が難しくなった方1名の退所がありました。最近の利用傾向を見ると80代後半～90代の方の新規利用が増えており、以前に比べ利用期間が大幅に短くなっています。そのため新規利用者が増えても経営が安定せず、今後もこの点を視野に置きながら運営を行う事が課題となっています。

2024年は、介護報酬の改定があり、介護職の処遇改善は若干上がりましたが十分とは言えるものではなく、期待していた基本報酬は0.4%増ほどで、光熱水道費、車両の燃料費の高騰、賃金の上昇を考えると運営は更に厳しい状況となっていますが、りんりんを現状必要としてくださっている利用者、家族の方、さらに今後りんりんのサービスを必要とする方々のために運営方針をもう一度見直し、安定した運営を目指したいと思います。

◆ 引越し

法人全体で支出減を目指して、ヘルパーステーションあいあいを除く3部門がりんりんの建物(ハイツ菖蒲)へ引越しをすることになりました。開設から20年分の荷物の整理を、通常の業務と平行に短期間で遂行することは、とても大変な作業でしたが、今まで気になっていたが出来なかったことを一掃する気かけとなり、新たな気持ちとなりました。

3部門が加わることでどのように部屋割りするか、導線をどのように作るかなど問題点はたくさんあり、今でもまだ落ち着かない状況がありますが、りんりんの利用者を一番に考え全スタッフが対応してくれることはとてもありがたいと思っています。

また、今まで離れていたことからお互いの業務の内容が把握できていないことがありましたが、一緒になることでお互いの大変さが見えることは、とても良かったことと思います。今後、より協力しあえる体制が出来、法人内の絆が強まるようになれば、この引越しは大きな成果となると思います。



久しぶりに町田市の薬師池に行きました🍁！

久しぶりの投稿内容はなにしようかな？と悩んだ末、やはり、戸外散歩にしよう！と思いました。

最近では1日10名に満たない人数の日も多く、少し寂しいですが、こんな時こそ足を伸ばそう！と久しぶりに町田市にある薬師池まで出かけました。



- 12月14日の投稿の抜粋

りんりんブログ更新中

デイサービスりんりんでは、利用者さんたちの日常の様子をブログで配信中です。月に数回更新を目指し投稿しています。是非、ご覧ください！

👉QRコードを読み込んでください。





2024年度 あいあい上半期総括資料より

管理者 高橋 直子

「利用者の状態に応じたサービス提供が図れるよう、スキルアップに努めるとともに、働きやすい職場環境を整える」ことを今年の事業目標に掲げて①研修など学ぶ機会を設ける②個別面談を増やしヘルパーの心理的負担を減らす③担当者間のカンファレンスを通して共通の認識を深める事に取り組んでいます。

■ 現時点の課題と対策

🌸 1人のヘルパーが長時間滞在でケアを提供しなければならない状況が生まれている。遠方から訪問となるヘルパーもいるため、労働条件やリスク管理等、社労士など専門家を交えて検討をしたい。

🌸 メンタル面から体調を崩すヘルパーも依然増加傾向にある。メンタル面への対応は技術も要するため、サービス責任者(サ責)が専門家へ相談できる仕組みづくりを考えたい。ヘルパーが休職となった際の補償、仕事の提供方法なども学びたい。

🌸 法定研修を計画・実施しているが、夜間での開催という事もあり、登録ヘルパーの出席に繋がらない。担当者会議時に開催するなど、研修開催方法について考えたい。

🌸 サ責の研修に関しては、現場時間数が減らず土日出勤が増えている状況となっている。平日にサ責全員がそろそろよう、全体のシフト調整を実施したい。

■ あいあいの経営目標を目指して

経営目標として年間のサービス提供時間数は26,000時間を目指しています。そのために①利用者の入院などサービス中断時に代替の現場や研修を確立する②ヘルパーの要望を確認し、入りやすい仕事を探す③重度訪問介護研修受講生にも積極的な働きかけをおこなうこととしました。

現在月平均のサービス提供時間数は 2265 時間を達成できています(年間目標時間 26000時間の月平均 2167時間)が収支は昨年と比べて厳しい状況です。現時点の課題として下記の点が挙げられます

👉 学生登録ヘルパーが以前より減少しており、土日や夕方などは常勤職員が入り時間数を確保している。ヘルパー不足による時間数減少が解消できなかった。

👉 季節によって外出の頻度が変わる移動支援や同行援護の利用が月の時間数にリンクしていた。7月・8月は暑さによる影響もあり利用時間数の減となった。

👉 24時間訪問や毎日訪問を行っている利用者宅では、シフトを組んだ後のキャンセルや入院となる方も多かった。24時間対応の利用者の緊急入院では調整ができず収入が激減した。

👉 新規利用者が2名のほか、現利用者が自費や介護給付から介護保険サービスに移行となり、2名の総合事業による家事援助サービスが開始された。府中市の総合事業を受ける事業所が少ないとのこと。

■ ヘルパーの仕事を通じて

ヘルパー不足、人員不足のほか介護報酬が下げられるなど訪問介護は苦境に立たされています。しかし、ヘルパーの仕事が利用者様を支えている事を実感できることも多々あります。支援開始5年目の重度訪問介護利用者様の帰省に同行することができ、5年間さまざまなアプローチに対して外部との繋がりを拒んでいた方が、帰省をきっかけに変化がみられ、その後研修に参加していただき、ご自身のことを大勢の前で懸命に語られる姿に立ち会うことができました。(スタッフ一同が感極まりました)



令和6年度上半期 振り返り

研修担当責任者 森田 恵美

◆ 授業料の値上げ

令和6年度より受講費用を5,000円値上げし、外部受講者:25,000円としました。値上がりが原因で受講者が減る事はなく、外部からは4つの事業所より受講者が来ています、あいあいに登録する方の受講料は無料としています。

◆ 受講生募集について

学生アルバイトヘルパーへも勧誘の協力をおねがいしましたが以前の様な人材確保は難しい状況です。学生に頼んで口コミで人員確保を目指すことは、受講したい相手に生の声が届き、どんな方法より効果があると考えますが、年々学校のカリキュラムが多くなっている事や他事業所へのアルバイトに流れている状況があるとのことで、募集しても受講生が集まらない困難な状況となっています。学生だけに頼らない人材確保の方法を模索しなければならない状況を迎つつあるのではないかと考えます。

また、専門学校・福祉系大学へ案内のチラシを送っても「今年から学内での掲示が出来なくなった」などの声も聞かれます。教育機関との繋がりを保つ事も今後の課題の一つと言えます。

◆ 受講生について

今期はデイサービスりんりんの学生アルバイト2名の受講がありました。デイサービスに必要な介護技術と講義内容は違う所もあります「初めて聞く言葉も沢山あったが、介護やコミュニケー

ションを学ぶ事が出来た。今後に活かして行きたいと思う』『介護はやってあげなきゃと言う気持ちになるが、そうだと相手の出来る事は少なくなってしまう。移乗もなかなか出来ないがコツを掴めば力を入れずに体を動かせる事が分かった』という感想がありました。無資格者の入職希望が多い中、事業所を超えて介護の基礎を学べる場として研修を今後も活用できればと考えます。

◆ あいあいの利用者様の協力により

上半期も利用者様数名より胃瘻や吸引の演習に使用するボトル・カテーテル・シリンジなどの物品のご寄付がありました。自身のヘルパー確保のためにも利用者様が自らの出来る事として協力してくださっています。

あいあい研修事業を担ってきた利点として、資格取得に必要な9時間の実習先を5件に広げサ責全員で受講者と利用者様のマッチングを行うことができました。

今後もスムーズな流れを確保して行けるか、研修事業とあいあいの連携が重要となると考えています。

◆ 令和6年度の受講生数

第1回 5/12(日)・5/19(日) 11名受講、11名修了(あいあい3名)

第2回 7/28(日)・8/4(日) 9名受講、8名修了(あいあい1名辞退・りんりん2名)

申し込み
受付中



重度訪問介護従事者養成研修

第4回 2025年1月26日/2月2日(日)

※受講料、スケジュールの詳細内容はコチラから→



← 肢体不自由者の介護演習

↑ コミュニケーション技術



相談支援の役割とは

相談員 志鎌 哲



■ 相談支援10年目

2024年はわの会相談支援の事業を2014年12月に開始してから10年の節目となる年でした。当初は「福祉サービスの水先案内人」などと自己紹介をしていましたが、10年経って感じる事はこの仕事はまさに「ソーシャルワークである」ことです。

■ 最近の相談の内容は

ご時世なのかもしれませんが、最近増えているのは相談を受けている利用者が特殊詐欺など犯罪に巻き込まれそうになるケースです。インターネットで個人情報を知らせてしまい、電話がかかってきて高額なプリペイドカードを買わされそうになった話や、簡単に儲かる仕事があるとの話に乗って消費者金融から数十万円を借りさせられたというケースに実際に遭いました。このケースは訪問看護師さんやコンビニの店員の機転により未遂となりましたが、情報が相手にわたっていたり、借金が残されてしまったりして福祉サービスでは解決しきれません。

これらの事件は被害に遭った人ひとりの力

では先には進めない事が多いです。障害を持っているとその上に様々なバリアがあることから、しかるべきところでしかるべき相談に繋がる事がとても困難になります。普段その人を支援している作業所やグループホーム、ヘルパーでは警察に被害届を出しに行ったり消費者センターに行ったりすることが難しいのですが、今回は相談支援の立場で動くことで本人と担当する部署とを結びつけることが出来ました。福祉サービス以外でも、しかるべき社会資源につなぐ仕事が出来たのだと思います。

特定相談支援は福祉サービス利用計画の策定やそのモニタリングにとどまらず、なぜそのサービスが必要なのかアセスメントを取るためにも暮らしの中に踏み込むことが求められますが、その人が苦しい時、不安な時に傍にいる事を許される仕事なのだなと感じました。サービス案内や御用聞きだけではなく、苦しい時、不安な時に頼る社会資源を知り、つなげてゆくソーシャルワークなのです。

■ 今後の支援の目指すもの

10年が経つとその事業所のカラーや得意分野も出てくるものですが、わの会相談支援は水先案内人にとどまらず、その人が不安な時に傍で寄り添う事のできる事業所でありたいと思います。

2024年は事務所の移転がありました。府中市の西端に移りましたが、フットワークを磨いて積極的に動いて行けるようにしたいと思います。



生き生き人

しんちゃん ふたたび



「THE ART FUCHU 2024」芸術祭が開催される中、府中本町駅からほど近いギャラリーで小さな写真展が催されました。しんちゃん（加藤慎大郎さん・享年36歳）は、14年前からヘルパーステーションあいの利用者さん、昨年2月突然天国に旅立ちました。小学6年生の時、写真家・菊池和子先生（当時教師）と出会い、写真集をこれまで3冊出版し、筋ジストロフィー症の難病医療研究促進を願い写真展を開催、記事にも何回も取り上げられました。



最初は、元気なお母さんを被写体にとっておりましたが、いつも自然体でいるしんちゃんとその家族の日常を写すことになり撮りため、しんちゃんの節目の時に写真集を発刊させて頂きました。私の代表作の一つとなりました。（菊池先生より）



写真展内 あいあいからの花籠→



自宅にて

写真展は約200名、偲ぶ会は約70名、遠くは北海道から来てくださり、私もやっと区切りがつかしました。あいのヘルパーさんたちはベテランばかり、本当にお世話になりました。外出大好きな息子のために、さっと万全の状態準備してくれたり、通常のケアでもかゆいところに手が届くというか、家族が快適に生活できる工夫もしてくれ本当に感謝しています。（母・加藤道子より）

あいあいスタッフより♡♡♡♡♡

しんちゃんは、坊主頭が神々しく、人が集まったり、人と人を繋ぐ人だと感じていました。最初に会ったのも、最後にケアに入ったのも私なので...その素敵な笑顔は忘れません。（サービス責任者）

大好きな雪の消防署の動画を作成すると大変気に入ってくれて、訪問時毎回「雪、雪」と言って動画視聴を催促され、目をキラキラさせて見ていたこと、あいのブログでも度々ほっこりする話題を提供してくれたことなど思い出すと目頭が熱くなります。（ヘルパーB）

計画相談で訪問の時、ギターをもっていくと定番寅さんの「男はつらいよ」を♪私、生まれも～♪からフルコーラス、しんちゃんは拍子をとって、何回もリクエストして、お母さんに促される光景が昨日のようです。モニタリング用紙にはその時に歌った歌の数々が記録されています。（相談員）

しんちゃんは、外出が大好きで、電車を見に行ったり、コンサートにいったりいろいろなところに行きました。12年くらいになるので、それはそれは沢山のエピソードが蘇ります。あいの写真展のお祝いのお花に「しんちゃん、お父さんとお母さんは任せてください」と添えました。しんちゃん、心配しないで、天国で楽しんでくださいね。（ヘルパーH）

慎大郎さんはすぐに名前を覚えて下さいました。学校や季節毎の話をしたり子供は元気？と気にかけて下さったり...いつでもその笑顔に癒されて、可愛い弟のような存在でもありました。今でも訪問していた金曜朝になると、しんちゃんスマイルが頭に浮かび、懐かしく思っております。楽しく優しい時間がありました。ありがとうございました。（ヘルパーY）